

平成29年第12回定例教育委員会

平成29年12月26日（火）午後2時30分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月 田 健 二	説明員	教育部長	渡 部 丈 司
	委員	支 部 英 孝		教育部次長	萬 直 樹
	委員	橋 本 幸 子		学校教育支援室長	
	委員	林 大 輔			伊 藤 忠 信
	委員	須 田 壽美江		総務課長	山 崎 正 樹
				学校教育課長	廣 田 修
				教育支援課長	松 井 正 行
				給食センター長	鈴 木 知 幸
				対雁調理場長	鈴 木 正 春
				生涯学習課長	天 野 保 則
				スポーツ課長	三 浦 洋 博
				情報図書館長	山 岸 智 幸
				郷土資料館長	榎 田 一 志
				郷土資料館主幹	兼 平 健 一
			記録員	総務課総務係長	嶋 中 健 一
			傍聴者	3名	

1 報告事項

- (1) 平成29年第4回江別市議会定例会の一般質問について
- (2) 平成28年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書について
- (3) 平成28年度江別市社会教育総合計画（第8期）推進状況報告書について
- (4) 平成28年度江別市スポーツ推進計画（第5期）推進状況報告書について
- (5) 平成29年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について
- (6) 平成29年度（平成30年度入学）学校選択制等にかかる申請状況について
- (7) 平成30年江別市成人のつどいの開催について
- (8) 平成29年度小中学生国内交流研修事業について

2 審議事項

- (1) 平成29年議案第43号
教職員の事故に対する処分内申について
- (2) 平成29年議案第44号
平成30年度江別市一般会計教育予算要求案について
- (3) 平成29年議案第45号
平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について
- (4) 平成29年議案第46号
第9期江別市社会教育総合計画の諮問について
- (5) 平成29年議案第47号
第6期江別市スポーツ推進計画の諮問について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 平成30年第1回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長

(開会)

ただいまから、平成29年第12回定例教育委員会を開会いたします。
 本日の議事日程は、配付のとおりであります。
 会議に先立ち、本日の会議録署名人を、須田委員にお願いいたします。
 議事に入ります前にお諮りしたい事項がございます。
 議案第43号の教職員の事故に対する処分内申については、人事案件でありますことから、秘密会による審議を提案するものでございます。
 これにご異議ございませんか。

(一同了承)

委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第43号は、秘密会により進行いたします。

本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時休憩いたします。

その後、配付の会議次第にしたがって進行してまいります。

<秘密会につき会議録省略>

委員会を再開します。議事に入ります。

1の報告事項(1)平成29年第4回江別市議会定例会の一般質問についての報告を求めます。

渡部教育部長お願いします。

渡部教育部長

平成29年第4回江別市議会定例会の一般質問についてご報告いたします。

教育委員会関係分は、12月7日、8日、11日の3日間に、4名の議員から一般質問がありました。

初めに、裏議員から、高等学校の通級制度についての質問があり、高等学校における通級制度の周知については、平成30年4月から高等学校等において通級による指導を実施できることとなったことから、今後、高等学校における通級指導の具体的な実施方法等の詳細が示された際には、その都度、各小中学校へ周知を図っていくと答弁しております。

次に、高等学校との連携体制については、高等学校における通級制度の導入にあたり、対象生徒に対する支援内容に係る中学校からの引継ぎや情報提供のための仕組みづくりが必要であるとされていることから、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援が組織的かつ継続的に行われるよう北海道教育委員会や高等学校と連携し、支援していくと答弁しております。

次に、干場議員から、ひとしく教育を受けることについて、他2件の質問があり、ひとしく教育を受けることについての質問では、義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律、いわゆる教育機会確保法に対する市の考え方については、これまでも不登校児童生徒への支援など、教育機会の確保に取り組んできたところであるが、法律の趣旨に鑑み、より一層、児童生徒等の実情に応じた支援の充実と、教育の機会の確保に努めていくと答弁しております。

次に、次期江別市学校教育基本計画での位置付けについては、教育機会確保法では、不登校児童生徒の個々の状況に応じた必要な支援の充実や、教育機会の確保などが求められていることから、現在策定中である次期学校教育基本計画に、この法律の趣旨を反映させていきたいと答弁しております。

次に、実態に合った具体的な取り組みについては、平成22年国勢調査の未就学者88人の実態を把握することは困難であるが、教育機会確保法では、義務教育の段階における普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の意思を十分に尊重しつつ、その年齢又は国籍その他の置かれている事情に関わりなく、その能力に応じた教育を受ける機会の確保を求めていることから、こうした学びの場の確保について、北海道教育委員会や関係団体と緊密に連携を図っていくこと、また、再質問では、次期学校教育基本計画に、教育機会確保法の趣旨を反映させていくと再度答弁しております。

<p>月田教育長</p> <p>須田委員</p> <p>三浦スポーツ課長</p>	<p>次に、夜間中学の設置については、北海道教育委員会において、夜間中学に関する協議会を設置し、検討を進めていることから、これらの動向を注視しながら、情報収集に努めていくと答弁しております。</p> <p>次に、平和教育についての質問があり、広島市及び長崎市へ子供たちを派遣することの意義については、市長から、平和教育の取り組みの一つとして意義のあるものと認識しているが、本市としては、より多くの子供たちに平和の大切さを理解してもらえるよう、まずは、幅広い世代が参加する江別市平和のつどいの一層の充実を図っていくと答弁しております。</p> <p>次に、広島市及び長崎市へ子供たちを派遣する考えについては、同じく市長から、幅広い世代の方々と一緒になって参加する江別市平和のつどいの取り組みを通じて、江別の児童生徒の平和を願う気持ちが醸成されていくものと考えているところであり、まずは江別市平和のつどいの一層の充実を図っていくと答弁しております。</p> <p>次に、テレビ番組の企画を活用した取り組みについては、学校における補助教材の使用にあたっては、法や学習指導要領の趣旨や児童生徒の心身の発達段階に則し、特定の見方や考え方に偏った取扱いとならないよう留意すべきとされており、今後も、視聴覚教材を適切に活用しながら、平和に関する教育を推進していくと答弁しております。</p> <p>次に、子どもの居場所づくりについての質問があり、公民館等の活用については、今後とも、施設利用者アンケートなど、広く市民の意見を参考にしつつ、必要に応じて指定管理者とも相談しながら、利用者の利便性向上に取り組んでいくこと、また、再質問では、今後ともアンケートや投書箱を活用して、子供を含めた様々な年代の市民の意見を参考にしつつ、利便性向上に取り組んでいくと答弁しております。</p> <p>次に星議員からは、グリーンボールの普及についての質問があり、グリーンボールに対する市の考え方については、近年、愛好者は減少傾向ではあるが、健康の維持増進のために有効な軽スポーツの一つと認識しており、今後もPRに努めていくと答弁しております。</p> <p>次に、今後の普及については、広報誌やホームページなどを活用して、グリーンボールのPRに努めるとともに、普及に向けた取り組みについて、江別市スポーツ振興財団などと相談していくこと、また、再質問では、グリーンボールの愛好者が近年減少傾向にあることを踏まえ、まずは、普及交流会や実技講習会等を通じて、一人でも多くの愛好者が増加することを目指し、対応していくと答弁しております。</p> <p>次に、吉本議員からは、奨学資金貸付金についての質問があり、江別市の奨学資金の貸付け状況と課題については、過去には、年間20名前後の利用者がいた時期もあったが、平成26年度以降は10名前後となっており、本市の奨学資金貸付制度の利用者が、なぜ減少傾向にあるのか、まずは、その実態の把握に努めていくと答弁しております。</p> <p>次に、現行の貸付けから給付へ変更することの検討については、他市の状況も参考にしながら、本市の奨学資金制度の在り方について、まずは、実態把握に努め、その結果を踏まえた上で、今後の対応を検討していくと答弁しております。</p> <p>以上であります。</p> <p>ただいま報告のありました、平成29年第4回江別市議会定例会の一般質問について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>グリーンボールの普及について、私もスポーツ推進委員をやっていたときにグリーンボールの講習会や大会によく参加したのですが、だんだん人が減ってきているのは確かです。普及や交流をしようということなのですが、貸し出すスティックはそうでもないのですが、ボールがぼこぼこになっています。子供たちに使わせるにも、あれではどうかと思います。もう少し、新しいものを用意するとかできないのでしょうか。</p> <p>あと、小学生や中学生の参加が本当に減っていて、大会でも2、3人しかいない感じが。そのあたりについて、小学生などを対象とした普及活動はどのように考えているのでしょうか。また、ボールなどを新しいものにするといったことは考えていないのでしょうか。この辺りについて伺います。</p> <p>ボールの状態については、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に現状を確認し、新しいものにするかを協議したいと思います。</p>
--	--

須田委員	次に、小中学生への普及活動ですが、来年5月以降の広報えべつにグリーンボールの発祥等を広報とホームページに載せて、大会前に周知した中で、もう一度子供たちにこういうスポーツがあるということを紹介したいと考えております。
月田教育長 林委員	もう一つ伺います。ある程度になってくると、グリーンボールよりもパークゴルフの方が面白くなって、パークゴルフに行く人がたくさんいます。掛け持ちする人もいますが、あるとき高齢者の人がパークゴルフはすぐそばではできないし、グリーンボールならそばにある公園ですぐにできるので、やはりグリーンボールはいいという話も聞きました。グリーンボールは自転車ですぐそばの公園でできるけれども、パークゴルフは車に乗って行かなければいけないということです。こういう話も聞きますので、せっかく江別発祥のスポーツです。高齢者の方も、ぱっと行ってすぐにできるスポーツなので、もう少し皆さんに知らせて、たくさんの方に参加していただけるよう周知をお願いしたいと思います。
廣田学校教育 課長	ほかに質問等はございますか。 夜間中学の設置についてですが、各都道府県に少なくとも1か所ということで、北海道ですと札幌に設置することになるのかなと思いますが、事情があって昼間の中学校に通えないという子供が江別市にもいたとしたら、札幌に夜間中学校ができれば、近隣の子供たちがそこに集まってくるというような学校というイメージでいいのでしょうか。
林委員	夜間中学が、どういった形の運営をされるものかお伺いしたいと思います。 いま委員からお話のありましたとおり、国では都道府県に1か所ずつ設置するということで、北海道教育委員会では、協議会を立ち上げまして、札幌市と設立に向けた協議を進めていると伺っています。
廣田学校教育 課長	塾みたいなのではなく、昼間の中学校と同じように先生が居て授業を行う、定時制の中学校みたいなのでしょうか。
月田教育長 橋本委員	おっしゃるとおり、教育課程がきちんとあり、教職員も配置される昼間の中学校と同じような感じで想定されているものです。
天野生涯学習 課長	ほかに質問等はございますか。 子供の居場所づくりについての質問で、公民館などの子供たちのアンケートの結果として水飲み場に踏み台が欲しいという話が出ていましたが、今、共働き家庭が増えている中で、子供たちの居場所というのは本当になくなってきていると思います。こういう小さい話は、すぐに検討していただいて実行していただきたいと思います。
月田教育長	ただいまのこの具体的な水飲み場の事例については、指定管理者と相談の上、既に対応をしております。付け加えさせていただきますと、このお子さんのご家族の方からお礼状も届いております。
廣田学校教育 課長	ほかに質問等はございますか。 (質疑終了) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
廣田学校教育 課長	次に報告事項(2)平成28年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書についての報告を求めます。 廣田学校教育課長お願いします。 報告事項(2)平成28年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書についてご説明いたします。
	江別市学校教育基本計画は、第6次江別市総合計画の個別計画と位置付け、平成26年度から平成30年度までの5年間の学校教育における目標や施策の方向性を示すため、平成25年度に策定いたしました。 本計画では、第5章の計画の推進にあたってに記載されているとおり、実効性を確保し、より効果的に施策を推進するためにPDCAサイクルの考え方に基づいて、点検・評価を行い、その結果については公表し、着実に計画を進めることとしていることから、平成28年度における成果指標の結果と、今後の推進の方向性についてご報告するものであります。
	報告する内容につきましては、太枠で囲まれた部分でございます。 資料の1ページ、上から6段目の基本目標1、確かな学力を育成する教育の推進であり

	<p>ますが、成果指標 1-①の学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合は、前年度と比較し、増加しました。1-②職場体験を通して、自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合は、おおむね横ばいの状況であり、1-③通常学級に在籍し、学習や行動面で困難を示す児童生徒の個別の教育支援計画を作成している学校の割合は、減少しております。</p> <p>今後の推進の方向性ではありますが、引き続き組織的に学力向上に取り組む学校体制づくりや、基礎学力の確実な定着を図る授業改善、補足的な学習への支援を行うほか、デジタル教科書等 ICT 機器の積極的な活用を図るとともに、個別の教育支援計画作成を推進するために、学校全体で児童生徒を支援する校内体制の充実と教員の専門性の向上を図って参ります。</p> <p>2 ページをお開きください。</p> <p>基本目標 2、豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進ではありますが、成果指標 2-①自分には、良いところがあると思う児童生徒の割合、2-②スポーツに親しんでいる児童生徒の割合、2-③朝食を食べて学校に通う児童生徒の割合は、前年度と比較し、いずれもおおむね横ばいの状況となっております。</p> <p>推進の方向性ではありますが、今後におきましても、道徳教育の推進や体験活動の充実、走り方教室の継続実施による体力向上や食育の取り組みを推進して参ります。</p> <p>次に基本目標 3、良好な教育環境の整備ではありますが、3 ページの成果指標 3-①市立小中学校における耐震化率は、平成 28 年度に江別第一小学校の新校舎が完成し、旧校舎が解体されたことから耐震化率が 100% となり、これをもって市内小中学校の耐震化は全て完了いたしました。</p> <p>次に、基本目標 4、家庭や地域に開かれた学校づくりの推進ではありますが、成果指標 4-①学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合は、前年度と比較しおおむね横ばいの状況となり、4-②教職員の夏期・冬期セミナーの参加率は増加となっております。</p> <p>推進の方向性ではありますが、今後も学校一斉公開や学校支援地域本部事業など各事業を推進し、学校と家庭・地域が連携していく取り組みを進めて参ります。</p> <p>また、教職員の資質能力の向上を図るため、引き続き教職員セミナー等の研修を計画的に実施するとともに、より実践的かつ効果的な研修となるよう研修内容の充実を図って参ります。</p> <p>最後になりますが、本日報告した内容につきましては、江別市のホームページにおいて公表いたします。</p> <p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、平成 28 年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>1 ページの成果指標 1-③にある通常学級に在籍し、学習や行動面で困難を示す児童生徒の個別の教育支援計画を作成している学校の割合というところで、平成 28 年度は大きく減っているようですが、その理由は何でしょうか。</p> <p>教育支援計画を作成するには保護者の同意が必要なのですが、同意を得て計画を作成していた生徒が卒業したことや、保護者の同意が得られていない児童生徒がいるということが主な要因です。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>質問ではないのですが、成果指標の 1-①で学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合が 96.9% ということで大変素晴らしい数字だと思います。経済力の差が学力の差になると言われていますので、やはり学校で勉強が分かるようにきちんと教えていただいて、学校で学んでいくことが大事だと思います。こういう数字が上がっていくように、すでに努力をいただいていると思いますが、今後ともお願いしたいと思っております。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に報告事項 (3) 平成 28 年度江別市社会教育総合計画 (第 8 期) 推進状況報告書に</p>
月田教育長	
須田委員	
松井教育支援課長	
月田教育長 橋本委員	
月田教育長	

天野生涯学習課長	<p>ついで報告を求めます。</p> <p>天野生涯学習課長お願いします。</p> <p>報告事項（３）平成２８年度江別市社会教育総合計画（第８期）推進状況報告書につきましてご説明いたします。</p> <p>第８期江別市社会教育総合計画は、計画期間を平成２６年度から平成３０年度までの５年間とし、社会教育行政の指針とするため策定しました。</p> <p>本計画の推進には、各施策の状況等について、点検・評価を行い計画に反映させていくこととしておりますので、平成２８年度における「成果指標」の結果と今後の推進の方向性について、ご報告いたします。</p> <p>資料の１ページをご覧ください。</p> <p>基本目標Ⅰ、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりであります。１家庭の教育力の向上では、成果指標１－①と１－②は、いずれも昨年度と比べ増加しています。</p> <p>２地域の教育力の向上では、成果指標２－①は、現状値平成２４年度と比べ維持しております。</p> <p>３の子どもの可能性を引き出す教育の実践では、成果指標３－①は、平成２８年度は７３．２％となっております。なお平成２６年度と平成２７年度は調査がなかったため空白としております。</p> <p>次の成果指標３－②は、現状値平成２４年度と比べ増加しました。</p> <p>資料の２ページをご覧ください。</p> <p>４の子どもを取り巻く安全安心な環境づくりでは、成果指標４－①、４－②はともに昨年度と比べ、増加しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。昨年度と比べて、成果指標が減少した項目に関わっては、学校や社会教育施設は、地域住民のニーズを把握し学習の機会を提供できる地域学習の拠点であり、子供を育てる環境を充実させるため、各学校におけるコミュニティ・スクールの取り組みなど、今後も施設の活用を図り、地域の団体活動の活性化に努めていきます。</p> <p>資料の３ページをご覧ください。</p> <p>基本目標Ⅱ、生きがいを見出すことのできる生涯学習の推進であります。１生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりでは、成果指標１－①、１－②、１－③のいずれも昨年度と比べて横ばいとなっております。２の市民が行う生涯学習活動への支援では、成果指標２－①は昨年度と比べて増加しています。３の協働・連携による生涯学習の推進では、成果指標３－①、３－②は、ともに昨年度に比べ減少しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。生涯学習の機会・施設・情報が充実していると思う市民割合はいずれも前年度に比べ、おおむね横ばいの結果となりました。趣味の活動を行う市民を増やすことや、生涯学習の機会や場について多くの市民に知っていただくため、より積極的な情報提供に努めていきます。</p> <p>資料の４ページをご覧ください。</p> <p>基本目標Ⅲ、地域で育まれた多様な郷土文化の再発見と創造であります。１の市民の文化・芸術活動への支援では、成果指標１－①は減少しています。２の文化施設の活用促進では、成果指標２－①は、昨年度と比べ、横ばいとなっております。３の文化遺産の保存と活用では、成果指標３－①、３－②は、ともに現状値平成２４年度と比べ、減少しています。４の芸術活動の推進では、成果指標４－①は、現状値平成２４年度と比べ、増加しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。江別の文化や歴史に触れる機会について、多くの市民に知っていただくため、積極的な情報提供やPRに努めていきます。</p> <p>以上が報告書の概要であります。本日報告した内容につきましては、江別市公式ホームページにおいて公表いたします。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長 林委員	<p>ただいま報告のありました、平成２８年度江別市社会教育総合計画（第８期）推進状況報告書について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>２ページの子どもを取り巻く安全安心な環境づくりで、子育て環境が充実していると思</p>

天野生涯学習課長	<p>う保護者の割合が45.7%ということで、年々改善されてきておりますが、半分以上は充実していると思っていないということかと思えます。</p> <p>残りの50%を超える方がそう思わない理由というのは、例えば保育園のことなのか、医療関係なのか、公園設備なのか、学校環境なのか、どのようなことが充実していないとされているのかは分かりますか。</p> <p>こちらの設問は、あくまでも意識調査ですので個別の事業を示して調査しているわけではありません。具体の事案への対応は、この意識調査を基にして検討していくこととなります。</p>
林委員 天野生涯学習課長 月田教育長 須田委員	<p>イメージという感じでしょうか。</p> <p>そのとおりです。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>1ページのおはなし会の開催と地域子育てサービスの利用者数についてですが、どちらで行われているおはなし会などを指しているのでしょうか。</p>
天野生涯学習課長 月田教育長	<p>情報図書館で主催している読書普及活動事業です。そのほか、地域子育てサービスの利用者については、子育て支援センターの相談件数や子育てサロンの利用者数を集計しています。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
三浦スポーツ課長	<p>次に報告事項(4)平成28年度江別市スポーツ推進計画(第5期)推進状況報告書についての報告を求めます。</p> <p>三浦スポーツ課長お願いします。</p> <p>報告事項(4)平成28年度江別市スポーツ推進計画推進状況報告書につきましてご説明いたします。</p>
	<p>第5期江別市スポーツ推進計画は、計画期間を平成26年度から平成30年度までの5年間とし、誰もが健康で心豊かな生活を送ることができる生涯スポーツの実現を目指すために策定しました。</p> <p>本計画の推進には、各施策の実施状況や達成状況、効果・課題について、点検・評価を行い、計画に反映させることとしているので、平成28年度における成果指標の結果と今後の推進の方向性についてご報告いたします。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。</p> <p>報告する内容につきましては、太枠で囲まれた部分でございます。</p> <p>基本目標Ⅰ、生涯スポーツの推進であります。各種スポーツ教室のメニューの見直しを行い、より参加しやすい教室になるよう工夫し、教室の受講者数は、前年を若干下回りましたが、安定した受講者数を確保しています。学校開放事業は、各団体の登録人数は減少しているものの、利用人数は増加しており、各団体の活動は活発な状態にあります。週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合は40.0%と上昇し、年代別にみると高年層の方の割合が高くなっています。</p> <p>今後の推進の方向性として、スポーツ活動に親しむ市民割合は上昇しておりますが、これを確実なものとするため、今後も、より多くの市民がスポーツ活動に親しむことができるよう、市民ニーズを的確に把握し、関係機関と連携して魅力ある事業の提供に努めていきたいと考えております。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。</p> <p>基本目標Ⅱ、地域スポーツ活動の推進であります。各スポーツ団体やスポーツ少年団は少子高齢化の影響がある中、会員数は一定の人数を保っており、それぞれの団体は活発に活動し、全道大会や全国大会でも多くのチームや選手が活躍し好成績を収めております。スポーツ機会が充足していると思う市民割合は61.6%と上昇し、年代別で見ると若年層と高年層の方が充足していると感じている割合が高くなっております。</p> <p>今後の推進の方向性ですが、体育協会などに対し、指導者育成等の支援を継続し、スポ</p>

<p>月田教育長</p>	<p>ーツ・健康づくりの活動機会に関する情報提供や相談体制の充実に努め、スポーツを通じた健康寿命の延伸を図っていきます。</p> <p>次に、基本目標Ⅲ、スポーツ環境の整備・充実であります。平成28年度は、大麻体育館の第一体育室耐震改修工事及びトレーニング室棟の耐震改修実施設計等を行い、施設の利用環境整備に努めました。市内の屋内体育施設は、建築から30年以上経過したものが多く、老朽化対策が課題となっているため順次改修整備を進めており、その結果、スポーツ施設整備の満足度は上昇し60.0%となりました。</p> <p>今後の推進の方向性ですが、引き続き大麻体育館の耐震化、長寿命化を行い、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めてまいります。</p> <p>最後に、本日、報告した内容につきましては、江別市公式ホームページにおいて公表いたします。</p> <p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、平成28年度江別市スポーツ推進計画（第5期）推進状況報告書について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>（一同了承）</p> <p>次に、報告事項（5）平成29年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について報告を求めます。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>山崎総務課長お願いします。</p> <p>報告事項（5）平成29年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果についてご報告いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。</p> <p>平成29年度の第2回学校一斉公開は、私立の立命館慶祥中学校を含む、市内の全小中学校27校において、去る10月18日に実施しております。</p> <p>見学者は、延べ1,200人で、昨年度同時期の見学者数1,346人から146人減少しております。</p> <p>また、アンケートの回答者数は484人で、見学者の40%に当たり、昨年度同時期の回答者数より99人減少しております。</p> <p>次に、アンケートの集計結果の概要については記載のとおりでございます。</p> <p>設問の主なものについてご説明申し上げます。</p> <p>問3の今回、他の学校も見学する予定ですかという問いについては、複数の学校を見学する人の割合が、昨年度同時期と比べて中学校で大きく増加しております。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>問4、学校一斉公開は、今後も必要と思えますかという問いについては、今後も必要と考える人の割合が、中学校で100%となっております。</p> <p>問6、学校は地域に開かれていると思えますかという問いについては、開かれていると思うと回答した人の割合が、小中学校全体では昨年度同時期とほぼ同じですが、中学校では5%増となっております。</p> <p>3ページをご覧ください。</p> <p>問9の児童生徒の様子はいかがでしたかという問いについては、大変よい、よいと回答した人の割合が、小中学校全体・小学校では、昨年同時期と比べて減少しております。</p> <p>自由記載欄では、挨拶がしっかりできている、落ち着いて授業を受けているなど、好印象の意見が多くありました。</p> <p>その他の内容については、4ページから9ページに掛けて、学校の印象、児童・生徒の様子のほか、江別市の教育等に関する意見や感想などを掲載しておりますので、こちらについてもご参照いただきたいと思います。</p> <p>なお、平成29年第8回定例教育委員会でご質問があった、平成14年度の一斉公開開始当初と比べてアンケートの結果の違いにつきましては、各設問に関して割合が大きく変わってきたものはございませんが、学校一斉公開は今後も必要と回答した人の割合は回を重ねるごとに増える傾向となっているものであります。</p>

月田教育長	以上です。
支部委員	ただいま報告のありました平成29年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について、質問等がございましたらお受けします。
月田教育長	アンケート集計結果全体についてですが、江別市におきましてもコミュニティ・スクールがスタートして約1年が経とうとしています。残念なご提案やご意見もあると思いますが、今後もコミュニティ・スクールを活発にしていただければと思っています。
橋本委員	ほかに質問等はございますか。
山崎総務課長	トイレについての意見で、トイレは洋式だけでいいという意見があったと思います。まだ和式トイレが残っているところはあるのでしょうか。
橋本委員	トイレに関しては、これまで施設改修に合わせて全体の70%以上を洋式化しようということで進めてきました。そのため、全てが洋式になっているということではありません。江別第一小学校ができて、全体では小学校が65%、中学校が57%ということになっておりまして、改修をしていない学校が何校かありますので70%には至っておりませんが、改修した学校をベースで見ると、おおむね9割が70%の洋式化を達成しているところですね。
山崎総務課長	改修があるときには70%を洋式するということです。
渡部教育部長	国全体で洋式化の流れにあるのですが、和式便器も残すという考えがあります。それから洋式化すると、従来の個室を広くする必要がありますので、その辺りも含めた改修が必要になるということですね。
月田教育長	ほかに質問等はございますか。
	(質疑終了)
	それでは、本報告については終了してよろしいですか。
	(一同了承)
	次に報告事項(6)平成29年度(平成30年度入学)学校選択制等にかかる申請状況について報告を求めます。
廣田学校教育課長	廣田学校教育課長お願いします。 報告事項(6)平成29年度学校選択制等にかかる申請状況についてご報告いたします。学校選択制につきましては、平成30年度の小中学校入学予定者の保護者に対し、8月下旬に制度の案内や申請書等の書類一式を送付し、10月12日からの1か月間、選択希望の申請を受け付けました。その後、11月27日まで申込みの変更を受け付け、このたび結果がまとまりましたのでご報告いたします。 資料には、各小学校、中学校それぞれの校区内の入学者数、選択制による申請者数などを掲載しております。表の左側から3列目、②のところを選択制・特認校制度による申請者数で、隣の列がその内訳になります。 次の③が、当該校から他の学校を希望した人数で、隣の列がその内訳となります。一番上の江別第一小学校を例に採りますと、選択制の申請により江別第一小学校を希望した人数は②の6人で、その内訳は江別太小校区から1人、中央小校区から1人、北光小校区から3人、いずみ野小校区から1人であり、③の7人が他の学校を希望したということを表しています。 また、表の左から2列目の①は、12月1日現在の校区内の入学者数で、表の右側から2列目の①+②-③の計が選択制に伴う人数の増減を加味した新1年生の入学者数となっております。その人数を基に算出したクラス数の見込みが、表の右側から1列目の学級数となります。 全体的な結果としましては、表の下に記載してあるとおり、選択制・特認校制度による申請者数は、小学校で70人、中学校で46人、合計116人となりました。入学予定者全体に占める割合は、小学校で7.95%、中学校で4.86%、小中学校全体で、6.35%です。各学校とも、申請者数が受入枠以内の人数であったため、申請者全員に対し、決定の通知を12月7日付けで出したところです。 最終的な入学者数は、今後の転入・転居等の移動に伴う分を加えて、来年の4月1日付け学級編制により確定する予定です。

月田教育長	以上です。
林委員	ただいま報告のありました平成29年度（平成30年度入学）学校選択制等にかかる申請状況について、質問等がございましたらお受けします。
廣田学校教育課長	<p>気になるところがあるのですが、江別第一小学校に北光小学校から3人希望されているということで、10人中3人が移動となりますね。北光小学校から江別第三小学校に通っていた子供も今までいたと思いますが、3割ぐらいまとまって選択制で移動するというのは、今までなかったような気がしています。このような傾向にあるのかどうかというのが1点目です。</p> <p>江別第一中学校と江別第三中学校で入り繰りが出てきていますが、第一小学校ができてから中学校がそれぞれ分かれるのは今回が2回目かと思いますが、前はそんなに異動はなかったようですが、長く一緒の学年にいと、部活動の関係等で友達同士のいろいろなことがあって、移動したいという子供が増えているのでしょうか。その辺の確認をさせていただきます。</p> <p>北光小学校からの申請者数ですが、昨年は2名の方が第一小学校を申請しております。今年度は、3名の方が来ていますので、学校選択制の隣接校方式ということで、必ず二つ以上の学校に動ける形になっています。北光小学校の場合は、第一小学校といずみ野小学校が対象となるわけですが、昨年度の人数を比べると1名増加になっております。</p> <p>次に、第一小学校から中学校に進むに当たって、第一中学校と第三中学校とに分かれることになり、今年度の選択制による申請者は、第一中学校が10名、第三中学校が5名となっています。昨年度を見ますと、同じく、選択制による申請者は、第一中学校が10名、第三中学校が2名ということで、第一小学校に統合したことによって、選択制に影響が出てくるのかということ、例年と同じような形で推移しているのではないかと考えています。</p> <p>昨年度は、第三中学校に入学してくる江別小学校校区の子供もいたのでしょうか。</p> <p>昨年度の状況で申しますと、第三中学校の校区から第一中学校へ行った方が2人、第一中学校の校区から第三中学校に行った方はゼロ人です。</p> <p>そういう意味では、増加傾向にあるという見方もできるのではないかとと思うのですが、何か子供たちに影響があるわけではありませんが、人数が増えてくると、どちらかの学校に偏るといった傾向が出るのかなということで気になりましたので、質問させていただきました。</p> <p>いずれにいたしましても、まだ2年目ですので、これから数年の経過を見ながら傾向について一定の評価をしていきたいと思っております。ただ、学校を選択する理由が、友人関係もあれば部活動の関係もありますので、今後、選択制の分析をする中で報告をしていきたいと考えています。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>同じような質問で申し訳ないのですが、昨年、一昨年を含め、江別第一小学校と中央小学校、あるいはいずみ野小学校の中での行き来がかなりあると感じているところがありまして、通学区域の見直しを含めて、検討する必要があるのかなという気がしましたが、部長からのお話で、友人関係や部活動という話もありましたので、その辺も含めて校区割りみたいなものを見直す時期も来るのかなと感じています。</p> <p>私の方からお話ししますが、この表で特に驚くのは、特認校の野幌小学校への希望者が14名であるということで、非常にすごいことだと思っています。地元の子供が2人いますので、全部で16人ということになり、ぎりぎりの人数というような状況になるのですが、野幌小学校の校長先生をはじめ、PTAの方々の皆さんがPRしたたまものではないかと思っています。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>（質疑終了）</p> <p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>（一同了承）</p> <p>次に、報告事項（7）の平成30年江別市成人のつどいの開催について報告を求めます。天野生涯学習課長お願いします。</p> <p>平成30年江別市成人のつどいの開催について、ご説明いたします。</p>
林委員	
廣田学校教育課長	
林委員	
渡部教育部長	
月田教育長	
支部委員	
月田教育長	
天野生涯学習	

課長	<p>資料をご覧ください。</p> <p>平成30年江別市成人のつどいにつきましては、年明けの1月7日曜日の14時から市民会館で実施いたします。今回の対象者は、平成9年4月2日から平成10年4月1日生まれの方で、対象者数は男性が817名、女性が724名の計1,541名です。</p> <p>当日は、市長にご出席をいただき、教育長に同席していただくとともに、来賓として江別市議会議長、北海道議会議員にご臨席いただく予定です。</p> <p>今回も、成人者の代表者数名による実行委員会を設け、決意発表やアトラクションなどを予定しています。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました平成30年江別市成人のつどいの開催について、質問等がございましたらお受けします。</p>
支部委員	<p>質問ということではないのですが、今年度の対象者が1,541名で前年度が1,439名ということで、20年前のゼロ歳児の数からみると増えてきているのかなと思っています。いろいろな意味で総合的に選ばれるまちづくりが進んだ結果が数字に表れているのではないかと改めて感じています。</p>
月田教育長 天野生涯学習課長	<p>その辺のことについては、実際どうなのでしょう。分かりますか。</p> <p>分析はしておりませんが、やはり社会的な人口増ということで考えております。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(8)の平成29年度小中学生国内交流研修事業について報告を求めます。</p>
天野生涯学習課長	<p>天野生涯学習課長お願いします。</p> <p>平成29年度小中学生国内交流研修事業についてご説明いたします。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。</p>
月田教育長	<p>今回の受入れにつきましては、1月17日から20日まで3泊4日での実施を予定しております。土佐市からの参加者は名簿に記載のとおりです。小学5年生が9名、中学2年生が3名、合計12名の小中学生と引率の先生等が4名となっております。</p> <p>なお、訪問団の受入れ校は、記載の7校にお願いしております。</p> <p>日程は、2ページのとおりで、小中学校での交流学习を中心とした学校生活の体験など、大まかな行動スケジュールを記載しておりますのでご覧いただきたいと存じます。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました平成29年度小中学生国内交流研修事業について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p>
渡部教育部長	<p>審議事項(2)平成29年議案第44号 平成30年度江別市一般会計教育予算要求案についての説明を求めます。</p> <p>渡部教育部長お願いします。</p> <p>議案第44号 平成30年度江別市一般会計教育予算要求案は、地方教育行政法に基づき、教育予算に関して教育委員会のご意見をいただくものであります。</p> <p>平成30年度要求額は、30億1,141万3,000円であります。</p> <p>裏面の2ページをご覧ください。</p> <p>教育予算要求案の総括表ではありますが、平成29年度当初予算額の総額は、下段に記載のとおり、24億6,692万9,000円ありますので、要求額ベースでは、5億4,448万4,000円の増となっております。</p> <p>現在、市全体の財政事情も厳しい中で予算査定作業が進められているところであります。</p>

<p>月田教育長</p>	<p>なお、前回の当委員会でご説明しました要求内容から、大きく変更した点はありませんので、各所管からの説明は省略させていただきます。</p> <p>以上であります。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成29年議案第44号 平成30年度江別市一般会計教育予算要求案についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、(3)平成29年議案第45号 平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についての説明を求めます。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>山崎総務課長お願いします。</p> <p>議案第45号 平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についてご説明いたします。</p> <p>報告書の表紙をお開きいただき、はじめにのページをご覧ください。</p> <p>この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検と評価を行い、議会に提出し、公表しようとするものであります。</p> <p>1ページをご覧ください。</p> <p>まず、第1章の点検及び評価についてですが、本報告書の作成に当たっての基本的事項についての説明でございます。点検及び評価の対象は、平成28年度に実施した事務事業等を対象としており、点検及び評価の手法と方針は、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する事業を個別に評価し、今後の改善を図ろうとするものであります。</p> <p>また、学識経験者等の知見の活用は、平成24年度から導入した手法で、独自の外部評価を行い、3回の会議で外部評価委員に意見を伺いました。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>第2章の教育委員会の活動状況に関する点検及び評価であります。9項目にわたり記載しております。初めに、教育委員会委員の氏名や会議の開催状況等が記載されており、3ページから9ページまでは会議の具体的な件名を、10ページでは審議等の状況を記載しております。</p> <p>11ページは、条例・規則等の制定、計画等の策定状況となっております。</p> <p>12ページは、教育委員会委員の活動状況を、13ページは、教育委員会に設置されております各種審議会等の状況を記載しております。</p> <p>14ページからは、平成28年度予算の状況について記載しております。</p> <p>平成28年度の当市の政策は、第6次総合計画に基づき九つの政策と、その下に位置付けられる95の取組の基本方針から構成されており、教育委員会所管は、政策06子育て・教育、政策07生涯学習・文化、政策08協働の三つが該当するものであり、この政策の下に位置付けられる取組の基本方針別の主な事業の取り組み内容を15ページから17ページに掛けて記載しております。</p> <p>18ページと19ページは、行政改革の取組についての記載であります。</p> <p>20ページから28ページまでは、青少年文化賞・スポーツ賞や文化・スポーツの奨励賞、さらには教育委員会表彰を受賞された個人や団体を記載しております。</p> <p>29ページは、学校適正配置の取組についての記載であります。</p> <p>30ページ以降は、第3章の教育に関する事業の点検及び評価についての記載であります。点検・評価は、総合計画に基づく事務事業を単位として行いますが、事業総数が多く、一度にすべての事業の点検・評価を行うことが難しいため、平成26年度から5か年で全体を一巡するよう、計画的に外部評価委員による点検・評価を実施しております。</p> <p>今回は、学校教育部門から政策06子育て・教育の11事業と、社会教育部門から政策07生涯学習・文化の10事業の全21事業を対象としております。31ページは対象事業の一覧で、これらの事業の概要を所管課長等から説明し、外部評価委員からご意見やご</p>

月田教育長 支部委員	<p>指摘などをいただきました。32ページから73ページに掛けましては、事業ごとの事務事業評価表を添付しております。74ページから最終ページまでは、外部評価委員からいただいた意見を掲載しております。</p> <p>なお、今後の予定であります。江別市議会の正副議長と総務文教常任委員会委員へ本報告書を配付するとともに、情報公開コーナー等で閲覧できるようにするほか、教育委員会のホームページにも掲載するなど、広く市民周知を図るものであります。</p> <p>以上、ご説明申し上げましたので、よろしくご審議願います。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>19ページの外部委託化の状況についてということで、市民文化ホールあるいは旧町村農場の利用者数が著しく伸びていると思います。大変効果が出ているものと思っておりますし、外部委託というものが非常に良い意味で効果を出しているのではないかと思います。</p> <p>また、18ページには事務局職員の適正化ということで平成27年度の105名から平成28年度には100名に減っていて、良い意味で人数が減っている中で外部委託をすることで効果が出ているものと評価しているところです。</p> <p>今後、外部委託が可能などところについては、進めていただければと思っています。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>なければ私の方から質問させていただきます。</p> <p>74ページと75ページのところに学識経験者の意見があるのですが、その中でこれはというような意見はありましたでしょうか。</p>
山崎総務課長	<p>外部評価については、5年で全事業を一巡するという進めているものでございます。32ページから73ページまでが議会に提出している事務事業評価表ですが、給食センター、教育支援課、セラミックアートセンター、郷土資料館の評価をしていただきました。それぞれ見ていただくと分かる通り、給食センターの取り組みに関しては、外部評価をしていただいた学識経験者の方からもアレルギー等へのきめ細やかな対応などにご理解をいただけたものと思っておりますし、教育支援課については、支援員や助働員の配置についても、これまでの経過を踏まえて適正に配置をしてくれていると評価をいただいたということが大きいと思っています。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、平成29年議案第45号 平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
天野生涯学習課長	<p>次に(4)平成29年議案第46号 第9期江別市社会教育総合計画の諮問についての説明を求めます。</p> <p>天野生涯学習課長お願いします。</p> <p>議案第46号 第9期江別市社会教育総合計画の諮問についてご説明いたします。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。</p> <p>次期社会教育総合計画の策定については、第10回定例教育委員会においてスケジュール等の説明をしたところであり、</p> <p>社会教育法第17条におきましては、社会教育委員の職務として、教育委員会に助言するため、社会教育に関する諸計画を立案すること、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べることが規定されております。</p> <p>この規定に基づき、第9期社会教育総合計画を策定するに当たり、社会教育委員の会議においてご審議いただくため、諮問しようとするものであります。</p> <p>諮問書案についてですが、国において、現在策定中の第3期教育振興基本計画の基本的な方針について述べた上で、本市の次期計画策定の必要性等を記載しております。</p> <p>諮問事項ですが、第6次総合計画、国、北海道の諸計画との整合等を図りながら意見を求めること、計画期間は平成31年からの5年間、最後に答申期限を平成30年12月とするものであります。</p> <p>以上ご説明しましたので、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。</p>

月田教育長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、平成29年議案第46号 第9期江別市社会教育総合計画の諮問についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に(5)平成29年議案第47号 第6期江別市スポーツ推進計画の諮問についての説明を求めます。</p>
三浦スポーツ課長	<p>三浦スポーツ課長お願いします。 議案第47号 第6期江別市スポーツ推進計画の諮問についてご説明いたします。 資料の2ページをご覧ください。 次期スポーツ推進計画の策定については、第10回定例教育委員会においてスケジュール等の説明をしたところであります。 江別市スポーツ推進審議会条例第2条において、審議会は、教育委員会の諮問に応じ、スポーツ推進計画に関する事項について調査、審議し、教育委員会に建議すると規定されております。 この規定に基づき、第6期江別市スポーツ推進計画を策定するに当たり、江別市スポーツ推進審議会においてご審議いただくため、諮問しようとするものであります。 諮問書案についてですが、国において、平成29年3月に策定した第2期スポーツ基本計画の基本的な方針について述べた上で、本市の次期計画策定の必要性等を記載しております。 諮問事項ですが、第6次総合計画、国、北海道の諸計画との整合等を図りながら意見を求めること、計画期間は平成31年からの5年間、最後に、答申期限を平成30年12月とするものであります。 以上ご説明しましたので、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。</p>
月田教育長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、平成29年議案第47号 第6期江別市スポーツ推進計画の諮問についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 続いて、3のその他、次回教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。 山崎総務課長お願いします。</p>
山崎総務課長	<p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成30年成人のつどいの出席状況について、平成29年度中学生国際交流事業についてなどを予定しております。 また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、1月24日水曜日午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p>
月田教育長	<p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は1月24日水曜日午後2時30分からということで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第12回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)</p>

終了 午後3時57分

署名人(教育長) 月田 健二

署 名 人 須田 壽美江